

## インフルエンザに要注意！！

インフルエンザは飛沫感染と...



インフルエンザに罹っている人が、咳やくしゃみをした場合、ウイルスは飛び散ってしまいます。咳で飛び散るウイルスは1万個、くしゃみで飛び散るウイルスは200万個とも言われます。マスクをつけても完全に防げるわけではありませんが、使い捨ての不織布製はくっつく性質をもっているため、つけないよりはつけた方がいいというのは間違いのないと思います。うがいもセットで行うのがより効果的！！

### 接触感染！！



インフルエンザに罹った人が、口に手を当てて咳やくしゃみをした後、ドアノブやつり革、電話の受話器などをさわると、他の人が、それにさわることによってウイルスが口や鼻から入り込み、感染が広がります。

### だから、やっぱり手洗いが大事！（ノロにも有効）

まずは自分でできる予防をしっかり実践しましょう。しかし、皆が皆インフルエンザに罹らないのは、どこに違いがあるからでしょうか？  
実はこんな人が、ウイルスは苦手です！！



### まずは手洗いが大事！



今年も残すところ、あと六日。今年には、本当に大変な年になりました。四月に起きた熊本地震。私たちが、今までに経験したことのない二度の大きな地震。地震から、八か月。復興は、まだまだ遠く傷跡は癒えませんが、しかし、「頑張るばい熊本」「負けんばい熊本」という文字を、あちこちで見ると、皆さんの頑張る姿に大きな力をもらいました。来年は、穏やかな日常でありますように。



スマートフォン等でのLINEをはじめとするSNSでのグループのすべてを解体するよう、先日学校でも全体に指導がありました。必ず実行してください。八代にも、こんなルールが決まっています。これは、自分を守るためのルールです。

### ひかわ

### 保護者が子どもを守る！ 5つの八代ルール

～子どもたちの輝く笑顔と未来のために～

ひかわ・やつしろ共育ネットワーク

1. 学校へは携帯電話・スマホを原則持たせない！！
2. 勉強中や午後9時以降、携帯電話・スマホ・タブレット・携帯型ゲーム機・インターネット通信機等を保護者が預かる！！
3. フィルタリングを保護者が責任をもってかける。解除はしない！！
4. 通信内容を保護者がいつでも確認できるようにし、定期的に確認する！！
5. 子どもと使用方法についてしっかり話し合い、我が家のルールを作る！！

#### 我が家のルール

#### （それぞれの理由）

1. 学びの場には不必要な道具であり、手元にあると使いたくなるので、授業に集中できない。
2. 集中して勉強するのに携帯・スマホ等は不必要である。また、生活リズムを作るのに、午後7時以降の電波（映像）は、脳への負担が強すぎて睡眠不足へとつながる。
3. 熊本県の少年保護条例の中にもフィルタリングをかけることは、保護者の義務と明記されている。また、有害サイトへのアクセスを未然に防ぐための具体策である。
4. SNS等の使用から生じる、いじめや人間関係の悪化、凶悪犯罪等から子どもを守る。
5. 子どもに携帯・スマホ等を持たせる以上は、保護者の責任が第一であることを強く自覚し、社会のマナーや実際に起こったトラブルや犯罪の話を子どもに伝える。また、「ルールを守れなかったら、〇〇」を必ず決める。

### 病気の治療を必ずやろう！

皆さんも知っていると思いますが、「医療費無料」は中学3年生までです。3年生は、あと3か月で終了。治療を後回しにしていたら、間に合いません。時間を見つけて必ず治療に行きましょう。まずは、自分の体を健康な状態に保つことが1番大事！

眼科受診率：80.5%（あと8人）

う歯治療率：33.3%（残りなんと24人も）